

平成20年度 主な県社協事業	2~5
介護ぬくもり	6~9
山学大生が介護労働者実態調査	10
福祉の学校紹介	11
ほっとすぼっと 古屋 泰さん	12
介護サービス自己評価基準書の改正	14
広がれ!地域福祉 都留市社協	15
福祉施設訪問「ともしび福祉作業所」	15
おしらせ	16

やまなしの 福祉

2008年5月号



ぼくの、わたしのこいのぼり

子どもたちが好きな色をぬって、
大きなこいのぼりを完成させました。

(甲府市 知的障害児通園施設
「つつじが崎学園」)

発行 社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会

〒400-0005 甲府市北新1-2-12 TEL 055-254-8610 FAX 055-254-8614
<http://www.y-fukushi.or.jp/>

環境ISO14001の認証に基づき「環境に優しく人に優しい福祉活動の推進」を図っています

だれの目にも優しいカラーユニバーサル・デザインで制作した広報です



この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金
配分金により発行されています。

平成20年度 主な県社協事業

〈基本方針〉

国、地方ともに厳しい財政状況を背景とした行財政改革は、社会福祉事業の経営にも大きく影響を及ぼしています。本県においても昨年12月に策定された山梨県行政改革大綱により、県社会福祉協議会に対する県単独の運営費補助金も見直しの対象となりました。

本会では、組織の機能と経営強化について中期的目標を定めた「県社協強化発展計画」をもとに地域福祉の推進をめざします。

特に県市町村行政、市町村社会福祉協議会、社会福祉施設、関係機関・団体などとの連携を緊密にしながら、福祉・介護従事者の資質向上をめざす研修の実施、福祉サービス利用者の権利を擁護する事業などを行います。

本年度の県社協予算総額(支出額ベース)は、約20億5,000万円(前年度比約2.5%減)となりました。本年度の主な事業と予算規模は、次のとおりです。

福祉サービス利用者や家族などへの支援

1. 日常生活自立支援事業

(46,500千円)

認知症高齢者、知的・精神などに障害のある方々の自立を支援するため、福祉サービスを利用する際の手続きや料金支払いなどの援助、日常の金銭管理といったお手伝いをします。また住民の保健・福祉についての相談・支援を行う地域包括支援センターと連携して、相談窓口や相談体制の充実・強化を図ります。

2. 福祉サービス苦情解決事業(運営適正化委員会)

(6,173千円)

公平・中立な立場で利用者の利益保護を目的とする運営適正化委員会は、県社協が実施主体である日常生活自立支援事業の運営を点検・指導します。また福祉サービス利用者や家族からの苦情(疑問、要望)に対し、相談、助言などを行い、適切に解決することに努めます。

3. 福祉サービス評価推進機構運営事業

(3,300千円)

福祉サービス評価推進機構は、福祉サービスの質の向上を図るため「福祉サービス事業所(社会福祉施設)の評価を行い、利用者がサービスを選択する際の情報を公表する第三者評価事業」の受審・普及を図ります。

4. 介護サービス情報の公表事業(関連事業を含む)

(40,494千円)

利用者が適切にサービスを選択できるように、介護保険法に基づき、介護サービス情報の内容や運営状況についての公表を行います。

5. 地域密着型サービス外部評価事業

(3,420千円)

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)と小規模多機能型居宅介護事業所が、自ら行う「自己評価」と評価機関が実施する「外部評価」によって客観性を高めることで、福祉サービスの質の向上を図ります。

福祉の心「^{ほんたん}奔湍」のように

価値観の変化や人間関係の希薄化による地域の崩壊が指摘される中、社会福祉諸制度は目まぐるしく変化しています。

平成18年、県社会福祉協議会は、長寿やまなし振興財団との統合により、県内における地域福祉推進の中核機関として、大きな役割と使命を担うことになりました。

このため、この2年間は新社協の基盤構築と、新たな飛躍のための期間と位置づけ、「和」と「勢い」を組織目標として、役職員一丸となって取り組んできました。

県社協は、いかなる環境変化に直面しようとも、粛々と職務に取り組まなければなりません。

県社会福祉協議会長

古屋 栄和



昨年、県行政改革大綱においては、本会も改革すべき対象として明記され、組織の存亡を左右する歴史的変革が眼前に迫っています。

常に研鑽を怠らず、地域福祉の牽引車として、県民から信頼され、尊敬され、なくてはならない県社協の組織確立をめざすものです。

この2年間は、社協の基盤構築のための充電期間であったならば、今年は飛躍する年です。「水は奔湍（勢いよく流れ出すこと）となって本領を発揮する」と言われますが、山梨発の「福祉文化の創造」に向けて進んでいきたいと思えます。

6. 認知症対応サービスの質向上推進事業

(1,300千円)

認知症対応サービスの質の向上を図るため、グループホーム、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護の先駆的事例を評価・分析した事例集を作成し、事業者や県民の方々などへ広く情報提供します。

7. 高齢者虐待防止支援事業

(1,999千円)

社会福祉士や弁護士などが市町村、地域包括支援センターに対し、高齢者虐待にかかる困難事例についての相談支援を行います。

地域で生活する方々への支援

1. 高齢者総合相談センター事業

(11,286千円)

高齢者の生活、健康、生きがい、職業、介護・看護、法律、身体拘束廃止といった相談に応じ、個人の尊厳と権利を擁護します。

2. 生活福祉資金等貸付事業

(86,608千円)

低所得世帯や障害のある方、高齢者などへの福祉資金貸付制度として「生活福祉資金」「離職者支援資金」「長期生活支援資金」「要保護世帯向け長期生活支援資金」の有効な活用を図ります。長期にわたる滞納世帯に対し、市町村社協とともに必要な対応を行います。

3. 高齢者居室等整備資金及び 重度障害者居室等整備資金貸付事業

(23,340千円)

高齢者（60歳以上）や障害のある方の住まいに対する貸付を行います。長期にわたる滞納世帯に対し、市町村社協とともに必要な対応を行います。

福祉経営と人材確保への支援

1. **福祉施設経営指導事業** (7,242千円)
巡回相談や研修に重点をおいた経営指導を行い、社会福祉施設の健全な経営を支援します。
2. **福祉人材確保事業**
(無料職業紹介事業と人材養成) (5,849千円)
福祉人材確保指針に基づき、有資格者や多様な人材の就労促進、定着支援などに取り組みます。人材確保にかかる課題やニーズを把握するため、労働市場動向基礎調査を行うとともに、福祉・介護業務のイメージアップを始めとするアクションプランを検討します。
3. **民間社会福祉施設振興資金貸付事業** (46,377千円)
民間社会福祉施設の健全な経営を目的とし、施設整備と運営に必要な資金の貸し付けを行います。

福祉従事者・担い手への支援＝生涯研修とその体系化

1. **民生委員・児童委員研修** (891千円)
地域における身近な相談者としての役割を支援するため、中堅の民生委員や主任児童委員などの研修を行います。
2. **従事者研修事業（福祉人材センター）** (671千円)
社会福祉事業従事者として必要な知識や技術の習得・向上を図るため、職種や階層に応じた研修を開催します。
3. **介護職員指導者研修・介護職員テーマ別研修**
(介護実習普及センター) (819千円)
指導的立場にある介護職員などを対象に実務に沿った研修を行い、福祉サービスの向上をめざします。
4. **介護支援専門員（ケアマネジャー）研修** (21,110千円)
実務研修受講試験の合格者と有効期間が切れる実務経験のない有資格者を対象とした研修のほか、就業期間に応じた更新研修を行います。

財団法人 山梨日日新聞厚生文化事業団

サポートします
やまなしの福祉

〒400-8505 甲府市北口2-6-10 ☎055-231-3106

各種御会合承ります

 **ベルクラシック**
甲府市丸の内1-1-17

TEL 055-253-4345

県民への啓発事業

1. 福祉教育の推進

(3,854千円)

関係者と連携し、学校や地域で活用できる「福祉のこころを醸成するプログラム」を開発、推進し、検証を行います。

2. 介護講座

(2,535千円)

「介護は社会全体で支えるもの」という理念のもと、県民の方々を対象にさまざまな介護講座を開催します。

青少年向けの講座や介護ボランティアの養成、家族介護者への支援を行います。

3. 健康づくり・生きがいづくり

(35,490千円)

「いきいき山梨ねりんピック2008」をはじめとする高齢者の健康づくり、「シルバー作品展」といった高齢者の生きがいづくりなどを行い、明るい長寿社会をめざします。

地域福祉の推進

1. 市町村社協への支援

市町村社協が抱える様々な課題に対処するため、地域の特性に応じた事業の企画・立案、果たすべき使命や役割を理解し、役職員が一丸となり、地域住民から信頼される社協づくりをめざし、研修会の開催や巡回支援をします。

2. ボランティア活動の振興

(1,500千円)

市町村ボランティアセンター機能の充実、ボランティアや地域住民が主体となり、市町村・小地域の福祉活動を推進するための「地域福祉活動推進フォーラム in やまなし」などを開催します。

3. 災害にも強いまちづくり

(562千円)

災害時の円滑な救援活動やボランティア活動を行うため、県市町村職員、市町村社協職員、モデル地区住民などを対象に「市町村社協災害ボランティアセンター」の設置運営実働訓練をモデル的に行います。

また平成8年度に作成した「山梨県民間社会福祉災害マニュアル」の見直しとともに、訓練を行います。

広報・情報提供

1. 本会ホームページの充実

(585千円)

県民の方々をはじめ、本会会員に対する福祉情報の提供を充実します。

市町村社協が災害時にも対応できる情報ページを提供するなどのネットワーク化に取り組みます。

2. 本会広報紙「やまなしの福祉」発行

(4,751千円)

本県福祉の総合情報紙として内容を充実し、福祉関係機関・団体はもちろん、県民の方々への情報提供に努めます。

企業に出張し入門介護講座

県立介護実習普及センターは、「入門介護講座」の受講を希望する企業を募集しています。同講座では、企業の店舗や売り場を使った高齢者疑似体験を行います。



ふたを開閉することも簡単ではない
(山梨中央銀行韮崎支店)



耳が聞こえにくく、会話をするにもひと苦労
(甲府信用金庫本店)



物がはっきり見えなくなり、お刺身の違いが分からない
(㈱オギノ湯村SC)

高齢者の疑似体験

接客サービス向上へ

① 疑似体験を通じ、加齢による身体的、それに伴う心理的な変化を理解すること

② 高齢者に対する緊急時の対応や災害時の避難方法などを考えること

③ 店舗や売り場といった施設の構造とともに、職員サービスに従事する方々の受講。多くの感想が寄せら

企業向け講座の目的は、次の4点です。

④ ①～③の結果を、高齢者などへの接客対応の向上につなげる

こと

④ ①～③の結果を、高齢者などへの接客対応の向上につなげる

ど、人に優しい環境づくりを考へることを、高齢者などへの接客対応の向上につなげる

○店内に入ると、暗くなり不安になった
○説明などの掲示物が見えない

ひじ、ひざ、足首などにサポーターをつけると、動きにくくなる体験

○店内のいすは、低くて立

こと

こと

こと

指先が思うように動かなくなり、レジ袋を広げられない
(株)オギノ湯村SC



関心のある企業のご担当者は、本センターへお気軽にお問い合わせください。
TEL 055・254・8680

全体を通した感想

ち上がりにくい
○1つひとつの動作に時間がかかる
○高年齢者について理解しているつもりだったが、体験して反省することばかりだった

○これまで行っていた説明は、お客様にとつて必要だったのか考えていなかった。こちらの都合や義務という視点で行っていた
○時間をかけず、早口で説明をしていた。伝わらな
○本センターでは「介護、福祉を勉強したい」という一般の方や青少年が参加できる講座はもちろん、あらゆる企業、職業の方々にも高齢者への理解を深める機会を提供し、だれもが住みやすい社会をめざします。

食事のお世話講座
6月3日から開講



調理経験豊かな受講者も時にはテキストを見ながら

6月3日(火)、4日(水)、12日(木)、13日(金)開催
のテーマ別介護講座「お年寄りの食事のお世話(4日)の管理栄養士による講義と

介護講座のパンフレット

る「平成20年度介護講座受講のご案内」ができました。
本センターが開催する講座は、ご家庭で介護をしている方などを中心としていますが、ご家族のみならず「介護の仕事を始めれば



講座の開催日時がわかる「カレンダー」を掲載

県立介護実習普及センターが県民向けに開講する
本センターが開催する講座は、ご家庭で介護をしている方などを中心としていますが、ご家族のみならず「介護の仕事を始めれば
※講座案内パンフレットをお送りします。ご希望の方は、本センターにご連絡ください。
TEL 055・254・8680

同講座は、食材購入費として1,500円の受講者負担があります。

調理実習。実習では手軽な方法でできるものや、飲み込みの障害に合わせた調理を3日間学びます。
これまでの参加者からは、バランスの良い献立作りに役立つと好評です。
残り1日は、山梨口腔保健センターの歯科医師が、飲み込みに関する障害のある方へのケアについて映像を使いながら講義します。

尿器の種類と使い方

寝たきりの方は、少しの時間であっても、座っている状態を続けることが困難なため、排尿や排便はベッド上ですることになります。排泄姿勢は仰向け（男性の場合、横を向くことができる）と排尿しやすい）が中心です。

寝たきりの方自身が、尿器や尿取りパッド類を使用することで部分的な自立を図ることが出来る場合もあります。オムツに頼りきってしまわないことが大切です。

尿意・便意があるか、寝返りや腰をあげることが可能か、自身で尿器を当てることのできるか、などが尿器を選ぶポイントになります。

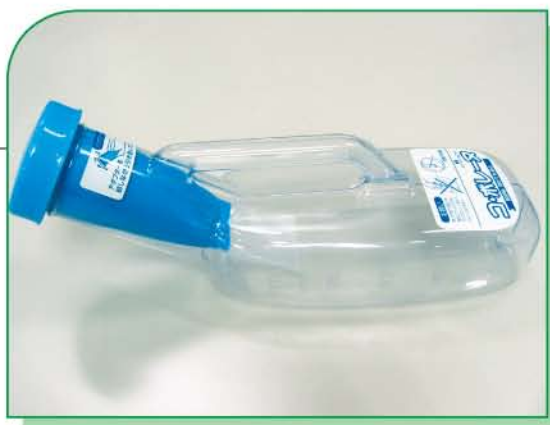
また汚れによる寝具の洗濯を軽減するために、防水シートなどを使用すると良いでしょう。

県立介護実習普及センターに展示している尿器をご紹介します。

座っても立ってもOK

商品名 コ・ボレーヌ（男性用）

特徴 座っていても、立っている状態でも使用できます。尿意がはっきりしていても、トイレに行けない方におすすめです。こぼれ防止機能付きなので、寝たままで使えます。簡単に掃除ができるため、介護者にとっても扱いやすい商品です。



腰を上げられない方に

商品名 安楽便器

特徴 小型差し込み型便器。仰向けでお尻の下に差し込んで使用します。尿意・便意がある方で、腰をあげることが困難な方、身体の小さい方におすすめです。

センサー付きの女性用

商品名 スカットクリーン（女性用）

特徴 レシーバーを軽くあてながら、そのまま排尿すると、センサーが感知し、モーターが自動的に尿を吸引します。尿が密閉され臭気が少ないので、排尿後すぐに処理ができない方におすすめです。レシーバーの交換で男性用にもなります。



〈専門的相談の連絡先〉

相談内容	窓 口	連絡先
<ul style="list-style-type: none"> ・車いすやシルバーカーの選び方 ・少し体を動かしたい など	山梨県理学療法士会 福祉厚生局 地域連携部 部長 笠井斗志夫	E-mail chiikirenkei19@yahoo.co.jp メールには次の項目を記載してください。 1. 件名「〇〇〇〇についての相談」 2. ①氏名(匿名可)、②年令、③性別、 ④職業、⑤連絡先(E-mailアドレス) ⑥質問内容 ※質問内容により、返信に時間がかかる場合があります。 あらかじめご了承ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の選び方 ・福祉用具の使い方 ・日常生活動作の訓練方法 など	山梨県作業療法士会 事務局 三瀬一彦 甲府城南病院作業療法室内	TEL 055・241・5811 FAX 055・241・8660 E-mail mise@kofujonan.or.jp
<ul style="list-style-type: none"> ・玄関の段差を解消する方法 ・車いすで生活しやすい住宅改修 など	社団法人山梨県建築士会	TEL 055・233・5414 〒400-0031 甲府市丸の内1-14-19 県建設会館4階

介護
ぬくもり

おしらせ

使う方に合った用具の選び方や基礎知識などが、分かりやすく紹介されています。

この冊子は、国際福祉機器展(昨年は、東京ビッグサイトで10月3日〜5日まで開催)で販売されたもので、本センター

で貸し出しをします。この他、介護・看護・福祉についての本249冊、ビデオ199本の貸し出しをしています。

詳しくは、本センターにお問い合わせください。TEL 055・254・8680



編集・発行
財団法人保健福祉広報協会

図書紹介



県立介護実習普及センターでは、使う方に適した福祉用具の選択などのご相談に応じています。より専門的なご相談を希望される方は、各会に直接お問い合わせください。相談窓口は、上の表のとおりです。

なお「建築士、理学療法士、作業療法士による福祉用具・住宅改修相談」は3月で終了しました。

専門相談のご案内

団体福祉用具
体験講座のご利用を

県立介護実習普及センターでは、福祉用具に触れ、選び方や使い方などを学ぶ「団体福祉用具体験講座」を開催しています。

対象は5人以上のグループや団体です。お気軽にお申し込みください。



電話055-254-8680 (直通)

広告募集中



県社会福祉協議会では、バナー広告と本紙「やまなしの福祉」の広告を募集しています。詳しくは、本会ホームページの「お知らせボード」に掲載している各広告募集要領をご覧ください。

県社協企画課 電話 055-254-8610

使命感と現実の落差浮き彫り

やりがいを感じる …… 53%
 賃金に不満 …… 46%
 4人に3人は月収20万円以下

介護労働者の実態を調査した山学大竹端ゼミ。左から萩原裕也さん、宮沢卓也さん、町田華実さん（副ゼミ長）、竹端寛先生、吉田将人さん、田代滋哉さん（ゼミ長）、前橋功平さん

山梨学院大学法学部政治行政学科地域福祉ゼミナールの学生6人が、同大の学生チャレンジ制度を活用した介護労働者実態調査を行い、今年3月、報告書をまとめました。

山梨学院学生チャレンジ制度は、自発的に何らかの活動に挑戦する学生に、資金面の支援をするもの。

ゼミ研究がきっかけ

平成19年度、当時2年のゼミ生は、社会福祉、中でも認知症と介護保険制度の関係性を新聞記事や書籍などで学びました。

「介護労働者が多ければ、質の良いサービスが提供でき、人手不足の場合は十分なサービスが提供できない

山学大ゼミ生が介護労働者調査



賃金アップ求め報告書

のではないかと」という疑問を確かめるため、夏休みは特別養護老人ホームなどで実習を体験。

実習では介護労働者が低賃金で働いている実態を知り、「福祉サービスの質は保証されるのか」という一層

の疑問を抱いたことがきっかけで、実態調査を行うことになりました。調査は、甲府市内の介護労働者、峡南地域の介護支援専門員に依頼。500人を超える対象者のうち、266人の協力を得ることが

できました。

「介護労働者が、低賃金でも頑張って働く理由は、やりがい。そのやりがいは利用者との人間関係にある」という回答が53%。

一方で、現在の賃金に満足していないと回答した介護労働者は46%。これは、財団法人介護労働安定センターによる全国調査の結果とほぼ同じ割合でした（やり不満を含む42%が不満）。賃金への不満を裏付けたのは、回答者の75%が月収20万円以下だったことです。「低賃金問題はケアする以前の問題に感じる。この実態はケアの質どころではない」というゼミ生の感想です。

「仲間が離職してしまうと負担が大きくなり、やりがいを感じる余裕がない職場になる」「やりがいがないなら、さらにほかの仲間も離職してしまう」という結論を導いたゼミ生。

介護労働者の離職率は約20%で、全労働者の離職率は約18%を上回っている現況（介護労働安定センター調査）も踏まえ、「離職を防止するためには、賃金を上げること」と提言しました。

調査の体験生かして

ゼミ生を指導した同大准教授の竹端寛先生は「調査から山梨の介護労働者の実情が明らかになりました。またこの結果をまとめる中で、ゼミ生は実感とデータを付き合わせて、根拠ある提言をまとめる体験を最後まで成し遂げました。このプロセスは社会に出ても大いに役立つはず」と、懸命に取り組んだゼミ生の将来にエールを送ります。

「若い人達にこの問題を知ってほしい」とゼミ長を務めた田代滋哉さん。

報告書をご希望の方は、竹端研究室にお問い合わせください。調査結果や分析はもちろんですが、6人の素直な感想もご覧ください。（電話055・224・1314）

優和福祉専門学校(昭和町)

平成19年4月に開校した

優和福祉専門学校の教育理念は「人間の尊厳の尊重」。

また知識や技術の向上を求めている就労中の人や、

短大を卒業後、一般企業に就職し、働いていたという同科2年生の白壁^{しろかべ}朋子^{ともこ}さん

策講座などを開講し、幅広く福祉人材の育成に取り組んでいます。

士になることを決意しました。

「祖母は、私が介護福祉士をめざしていることを応援してくれま

理由は「自分たちで学校をつくっていくことができると思ったから」と言います。

介護福祉士として働くことが、白壁さんの夢。祖母も白壁さんの活躍を楽しみにしています。

同校介護福祉科は、介護の論理を身につけ、深い人間愛と広い視野を持つ介護福祉士を育成することを目的としています。

同校では、学生が専門的な知識・技術だけでなく、一般社会人としてのマナーや介護福祉士としての職業倫理が身につく指導や支援を行っています。

今年3月には、学生の実習先となる福祉施設などとの交流や、保護者とともに学校づくりを進めるために「サポート会」を実施しま

人間の尊厳を守る介護 施設と交流して実現へ



実習で「介護技術」を学ぶ

就職を希望している人などを対象に講座を開催する

ん||写真。

小学生の頃から手話を学

「優和スクール」を併設。

ホームヘルパー2級養成

ぶなどして福祉に興味を持つていました。25歳の時、

講座や福祉用具専門相談員

祖母のデイサービス利用が

講習会、介護福祉士受験対

きっかけとなり、介護福祉

介護福祉科 (定員40人)

- ①資格・免許 介護福祉士
- ②卒業後の進路 特別養護老人ホーム、老人保健施設、身体障害者施設、重度身体障害者授産施設、救護施設、社会福祉協議会、民間の福祉関連サービス会社、福祉系教育機関など

〇所在地

中巨摩郡昭和町築地新居374-1

電話 055・268・6001

FAX 055・268・6003

〇ホームページ

<http://www.yuwa.ac.jp/>



りました」

新設だった同校を選んだ

在校生の多くは、オープンキャンパスに参加したことをきっかけに入学。学校概要の紹介だけでなく、模擬授業、車いす体験コーナーなどを設けています。今年度の予定は次のとおり。

- ▽第1回 6月21日(土) 14時〜▽第2回 8月9日(土) 10時〜▽第3回 9月13日(土) 14時〜



黒紋付きに袴、独特の声と節回し。山梨市下栗原の古屋泰さん（80歳）が舞台上立つと、聴衆から「よっ」と声が掛かり、一気に浪曲の世界に引き込んでいく。県内で浪曲がきっちり演じられる最後の人。福祉施設の訪問では、消えゆく話芸を心に留めてもらおうと、精根込めてこぶしを利かす。

戦争中に少年期を過ごし昭和3年生まれ。小さい時から浪曲が好きで、東京で働いていた10歳代半ばには、職場の先輩に連れられて演芸場でよく聞いた。ラジオなどで覚え、自己流ながら曲をうなれるようになっていた。

本格的に練習を始めたのは、20歳を過ぎてから。石和に浪曲道場のような所があり、大工仕事を抜け出して飛んで行くこともしばしばだった。ここで声の出し方を習った。直径10センチ、長

浪曲師 古屋泰さん ゆたか



「声が出る限り訪問を続けたい」と話す古屋泰さん

さ2センチほどの竹に幾つも穴を開け、水平に目の高さにつるす。水を流すと穴から水が吹き出し、滝のような音が辺りに響く。反対側に先生が立ち、こちら側から声を出す。先生が聞き取れるまで、何回も何回も繰り返し「腹から声を出せ」「まだまだ」と厳しい先生。のどから血を流した。

節回しはレコードで、語りはノートに書いて覚えた。厳しい練習と努力でアマチュアとして上達していった。三門博さんや木村重若さんの指導も受けた。

話芸に託す日本の心／声出る限り施設訪問

51年には仲間7人と甲州浪曲名声会を結成。施設訪問も始めた。56年に関東アマコンクールで優秀賞、平成4年には全日本アマコンクールで4位に輝いた。棟梁となつて上棟式で歌う木遣歌は、絶品との評判だった。

趣味を楽しむかたわら施設訪問を続けている。芸名は甲斐昇龍。昨年の口演は22回。1カ月2回のペースだ。浪曲だけでなくハーモニカや太鼓演奏、童謡、昔話、紙芝居、手品と内容は多彩。施設やお年寄りの集まりでは、懐かしい浪曲中心。子どもたちが相手の時はハーモニカや昔話、紙芝居を披露する。

浪曲は日本人の心を語るといわれる。しかし若い人は関心を示さない。古屋さんの得意な出し物は「佐渡情話」「大島情話」「吉田御殿」の3本。「アマでも一人前になるには5年はかかる。もう80歳。希望者がいても芸を伝える時間がない」

「声の出る限り訪問を続ける」と話す古屋さん。戦争をくぐつた同世代を前に熱演する姿には、滅びゆくものへの愛着と寂しさがこもっているようだ。

ふれあい いきいき サロン や 敬老会

和やかなひとときに、もうひとつの「笑い」を！

簡単なゲームや歌でリフレッシュ！ 歌って、笑って「しわ」のばし！レクリエーションの講習会もどうぞ。

西島福祉レク研究舎

〒409-3301 山梨県南巨摩郡身延町西嶋1819

TEL 090-4947-1804 (望月栄司) FAX 0556-42-2677 (自宅電話兼)

福祉関連各種大会・研修会・職場旅行等
お気軽にご相談ください。

名鉄観光 サービス株式会社

甲府支店

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-8-12 白木屋ビル内

TEL 055-228-3221 Fax 055-228-1457

安心を支えます

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を補償

活動場所と自宅
との往復途上の
事故も補償

ケガのための
入院を
事故の日から
1,000日まで補償

ボランティア自身の
食中毒・熱中症・
特定感染症もOK

天災タイプでは
地震・噴火・津波による
ケガもOK



保険料
(掛金)

Aプラン.....	260円
Bプラン.....	420円
Cプラン.....	590円

天災危険補償タイプもあります。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティアに関する行事におけるケガや賠償事故を補償!

- 行事参加者(主催者を含む)全員のケガを補償(往復途上も含む)
- 行事主催者の賠償事故も補償

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャー等の活動中のケガや賠償事故を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外サービスを含む)
- 地域福祉サービス
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業 など



送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故によるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を特定したプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したプラン

お申込み、ご照会は、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
団体契約者 **全国社会福祉協議会**

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

http://www.fukushihoken.co.jp

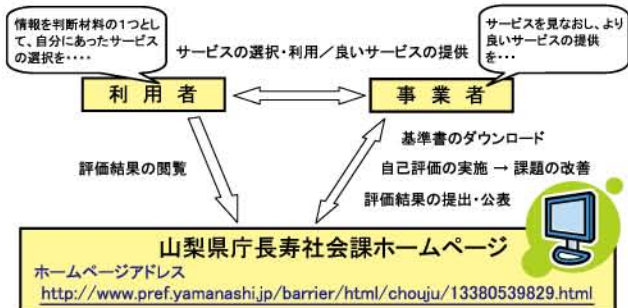
〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険 株式会社

介護サービス自己評価基準書を改正

介護サービスの事業者による自己評価は、厚生労働省令により事業の取扱方針として定められています。

自己評価を推進するため、県社会福祉協議会は、平成18年度から県の委託を受けて事業に取り組んでいます。

今年3月、訪問介護、訪問入浴介護、通所介護、居宅介護支援、福祉用具貸与の居宅系5サービスの自己



主体的点検を促進 県庁HPで公表

調査項目と整合性を図る②
事業者の評価事務にかかる負担を軽減する一ことを重点におきました。

事業者自らが、提供しているサービスの内容を主体的に点検することで、課題などが明らかになります。また公表制度による調査や他の評価制度などの結果

をダウンロードできるようにしました。
ダウンロードした基準書は、評価の実施から結果までが表示可能となっています。評価結果を自動で集計し、実施率によるレーダーグラフを使って、結果分析を行うことができます。

評価結果のデータを県長寿社会課に送信することで、評価日から1年間、評価結果をホームページ上で公表することもできます。評価結果や集計表とともに、事業所概要も公表するために、県民に対する情報提供の機会となります。

と比べることで、事業者だけでなく、利用者ようとする県民も客観的にサービス内容を見ることが出来ます。

こうした結果をさらに事業者が分析・検討する取り組みが、サービスの質の向上につながっていきます。

4月からは、県庁ホームページに「介護サービス自己評価」のページを開設し、基準書

詳しくは、県庁長寿社会課ホームページ (http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/chouju/13380539829.html) をご覧ください。

その他のサービスについては、年度内に改正予定です。(県社協長寿やまなし振興センター介護情報担当)



全国7,200の導入実績を誇る
福祉業務支援ソフトウェア
「ほのほの」シリーズ

第一システム販売株式会社
情報処理システム事業部
甲府市国母6-4-3
TEL:055-228-3677
http://www.daiichi-system.co.jp/

福祉業務支援ソフトウェアの導入からサポートまで

あなたの街のやさしい手をよろしくお願いします。
介護のことなら何でもご相談下さい。



在宅介護
やさしい手



- 居宅介護支援・ケアプラン作成
- 訪問介護
- 通所介護
- 訪問入浴
- 福祉用具貸与・販売
- 障害福祉サービス
- 小規模多機能型居宅介護

甲府本部 甲府市上石田1-7-14 ☎055-236-6210

広がれ!
地域福祉

都留市社協の「夢実現ひろば」

「一人一芸」で地域に貢献
高齢者の連帯広がる

都留市社会福祉協議会は「自分が自分らしく、生き生きと素敵に年を重ねましょう!」を合い言葉に「夢実現ひろば」を開催、今年4年目を迎えます。

参加者は谷村地区の60歳以上の方。約50人が月1回、同市老人福祉センターに集まります。毎月の内容を企画するのは、「谷村地域協働のまちづくり推進会」を中心とする同ひろば実行委員会のボランティア。

「一人一芸ボランティア」を呼びかけたところ、少しずつ登録者が増え、ダンス、俳句、写経、寺巡り、大学生との交流など、いつもバラエティーに富んだひろばになっていきます。

参加者は「ここに来れば何かが見つかる。いろいろな人たちと会え、新しいことにも挑戦できる」とひろばを楽しみにしています。

「自分ででき



お寺巡りでふるさとを再発見

「ひろばを通して、高齢者の問題は自分の問題、地域の問題」という意識や連帯感も生まれてきました。福祉・保健や生涯学習、まちづくりなど幅広い関係者の声から生まれたひろば。地域の課題に対し、さまざまな人が取り組むことの大切さを同市社協は伝えようとしています。

ともしび福祉作業所

生き物とのふれあいで社会参加

福祉施設
訪問

「ともしび福祉作業所」は、自閉症や知的障害のある人たちと、生きる喜びを分かち合える場所づくりをめざして昭和62年に開設されました。

陶芸活動も行う作業場



同作業所は、野菜や環境に優しい肥料EM細菌を利用した「ぼかし」、白ウリの粕漬けなどを作っています。商品はイベントや自然食品店などを通じて販売、地域の方々に好評です。

生産量や納期に追われる企業の下請け作業をしていないのが特徴。所長の石川秀巳さんは「生き物とふれあいで、楽しくお世話することが社会参加となり、地域で生きていくことの満足感を実感してほしい」と言います。

現在、うどん屋開店を計画。材料は、利用者さんと作った野菜などを使う予定です。開設時の理念を忘れることなく、同作業所の挑戦が続いています。



農園で野菜づくり

施設概要	施設名	社会福祉法人 藤実会 知的障害者小規模通所授産施設 ともしび福祉作業所
	住所	〒404-0023 甲州市塩山中萩原1309
	電話	0553-32-1916 F A X 0553-32-1931
	事業開始	昭和62年10月1日

敷地面積	925.16m ²
建物構造	木造・平屋
定員	19人
事業等	就労継続支援 (B型)

おしらせ

善意をありがとう

NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド（立川敬二理事長）様から県社会福祉協議会に対し、ご寄付をいただきました。

同団体からの寄付金は、平成



モバイル・コミュニケーション・ファンド様 (右)

7年度から続き、累計で39,500,000円となります。

寄付金は、県民間社会福祉基金として積み立てます。同時にその一部を予算化し、福祉救済などの事業を実施するために活用させていただいています。(担当：県社協総務課 電話055・254・8610)

善意をありがとう

山梨ともしび基金では、NTT東日本山梨支店（大坪康郎支店長）様からご寄付をいただきました。

寄付金は、民間福祉活動の助



NTT東日本山梨支店様 (左)

成を行う基金として大切に活用させていただきます。(担当：県社協企画課 電話055・254・8610)

渡辺智広&Marina's Early Summer Live開催

ドラマー智広さんと親子デュオ・マリナーズは、6月22日(日) 13:30から甲府市南部市民センター（甲府市下今井町15）1階大ホールでコンサートを開催します。

だれもが知っている曲を「会場のみなさんと一緒に楽しく」がモットー。どなたでも入場できます。入場は無料です。

【渡辺智広&Marina's】

ドラムをたたく智広さんはダウン症。知的障害のある麻里奈さんは母親とデュオを。母親がピアノ伴奏、麻里奈さんはボーカルです。

平成18年1月ユニット結成

シルバー作品展・ 俳句大会のご案内

県社協は「いきいき山梨ねんりんピック2008シルバー作品展・シルバー俳句大会」を開催します。

入場は無料。お気軽にお越しください。

【作品展・俳句大会】

今年で17回目を迎える作品展・俳句大会。豊かな知識や技能、経験を持った高齢者の文化活動をとおした、ふれあいや生きがいを目的として始まりました。

●日時 6月20日(金) 13:30～17:00、21日(土)～22日(日) 9:00～17:00、23日(月) 9:00～12:00

※開催時間にご注意ください。

●会場 県民情報プラザ地下展覽会場（甲府市丸の内1-9

後、コンサートを中心に活動中。
(問い合わせ：白井さん 電話090・6504・5550)

自動車事故による 被害者のご家族に

独立行政法人自動車事故対策機構山梨支所は、無利子で育成資金の貸し付けをします。

対象は自動車事故が原因で、死亡、または重度の後遺障害が残った方の児童（0歳から中学校を卒業するまでの遺児など）です。

同機構は貸付以外にも、自動車事故を原因とする重度の後遺障害があり、介護が必要な状態の方に介護料を支給します。(問い合わせ：電話055・262・1088 <http://www.nasva.go.jp/>)

—11) (担当：県社協長寿やまなし振興センター 電話055・241・3900)

平成20年度やまなし男と女 とのフォーラム参加者募集

フォーラム実行委員会と県は、公認会計士であり、経済評論家として活躍中の勝間和代さんの講演会「働く・育てる・暮らす～ワーク・ライフ・バランスのすすめ～」を開催します。

どなたでも参加できます。

参加は無料。手話通訳付き。託児ができます。

●日時 6月6日(金) 13:45～15:30

●会場 県立文学館（甲府市貢川1-5-35）

(参加申し込み・問い合わせ：県男女共同参画課 電話055・223・1358、FAX055・223・1335)